

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式／特殊型（ブル・ベア型）	
信託期間	無期限（設定日：2021年4月27日）	
運用方針	日々の基準価額の値動きがFactSet ATMX+指数（配当込み、香港ドルベース）の値動きの2倍程度となることをめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	ベビーファンド	イ. FactSet ATMX+指数（配当込み）の2倍の値動きを享受する債券（円建） ロ. 香港の株式（DR（預託証券）を含みます。） ハ. 中国（香港を含みます。）の株価指数に連動するETF（上場投資信託証券）およびETN（上場投資証券） ニ. 中国（香港を含みます。）の株価指数先物取引 ホ. わが国の債券 ヘ. ダイワ・マネースtock・マザーファンドの受益証券
	ダイワ・マネースtock・マザーファンド	円建ての債券
組入制限	ベビーファンドのマザーファンド組入上限比率	無制限
	ベビーファンドの株式実質組入上限比率	
	マザーファンドの株式組入上限比率	純資産総額の10%以下
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、信託財産の成長に資することを目的に、配当等収益の中から基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、配当等収益が少額の場合には、分配を行わないことがあります。	

iFree レバレッジ ATMX+

運用報告書(全体版) 第5期

(決算日 2026年4月27日)

(作成対象期間 2025年4月29日～2026年4月27日)

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、日々の基準価額の値動きがFactSet ATMX+指数（配当込み、香港ドルベース）の値動きの2倍程度となることをめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
お問い合わせ先（コールセンター）
TEL 0120-106212
(営業日の9:00～17:00)
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

設定以来の運用実績

決算期	基準価額			FactSet ATMX+指数 (税引後配当込み、香港ドルベース)		株式組入 比率	株式先物 比率	公社債 組入比率	投資証券 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税 込 分配金	期 中 騰 落 率	(参考指数)	期 中 騰 落 率						
	円	円	%		%	%	%	%	%	%	百万円
1 期末 (2022年 4月26日)	1,674	0	△ 83.3	4,847	△ 51.5	—	—	99.2	—	—	255
2 期末 (2023年 4月26日)	1,013	0	△ 39.5	4,400	△ 9.2	—	—	99.4	—	—	439
3 期末 (2024年 4月26日)	907	0	△ 10.5	4,637	5.4	—	—	99.4	—	—	601
4 期末 (2025年 4月28日)	1,537	0	69.5	6,831	47.3	—	—	101.7	—	—	926
5 期末 (2026年 4月27日)	1,283	0	△ 16.5	6,696	△ 2.0	—	—	99.9	—	—	608

(注 1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注 2) FactSet ATMX+指数 (税引後配当込み、香港ドルベース) は、同指数の原データをもとに、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。

(注 3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注 4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

(注 5) 組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注 6) 株式先物比率は買建比率-売建比率です。

(注 7) 公社債組入比率は新株予約権付社債券 (転換社債券) および債券先物を除きます。

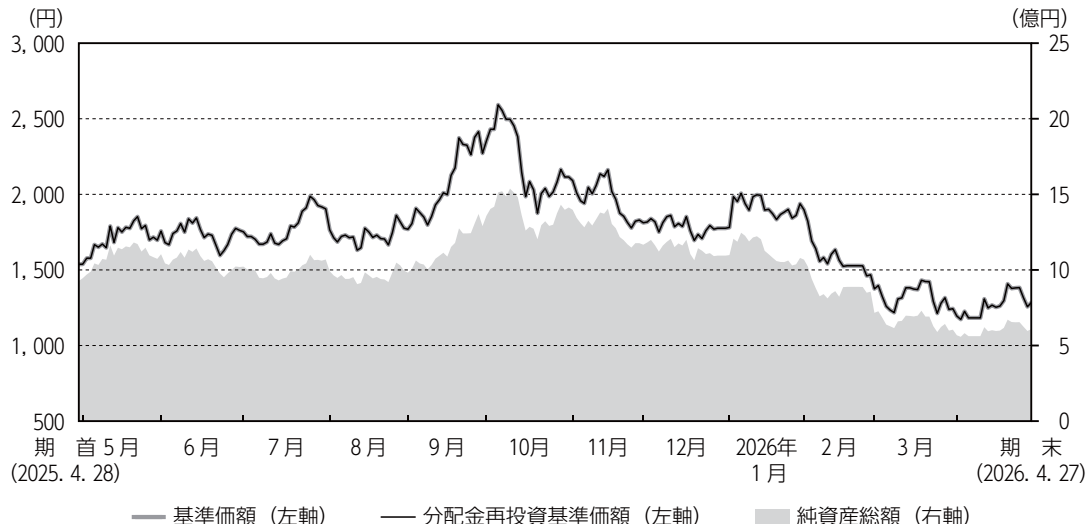
FactSet は、FactSet ATMX+指数の正確性および、または完全性を保証するものではありません。また、その中に含まれるデータおよびインデックス使用許諾者は、いかなる誤り、欠落または中断について責任を負うものではありません。FactSet は、インデックスの使用許諾者、当ファンドの所有者、または当インデックスまたはそれに含まれるすべてのデータの使用に起因する他の人物または組織によって得られる結果について、明示的または黙示的に保証されるものではありません。FactSet は、明示的または黙示的を問わず、いかなる保証もせず、当インデックスまたはそれに含まれるすべてのデータの商品性、特定の目的または使用への適合性について、一切の保証を明示的に否認します。これに限定されず、FactSet は、たとえそのような損害の可能性について知らされていたとしても、特別損害、懲罰的損害、間接的損害または派生的損害 (逸失利益を含む) に対する責任を一切負うものではありません。

FACTSET DOES NOT GUARANTEE THE ACCURACY AND/OR THE COMPLETENESS OF THE FACTSET ATMX+ INDEX OR ANY DATA INCLUDED THEREIN AND LICENSOR SHALL HAVE NO LIABILITY FOR ANY ERRORS, OMISSIONS, OR INTERRUPTIONS THEREIN. FACTSET MAKES NO WARRANTY, EXPRESS OR IMPLIED, AS TO RESULTS TO BE OBTAINED BY LICENSEE, OWNERS OF THE PRODUCT, OR ANY OTHER PERSON OR ENTITY FROM THE USE OF THE FACTSET ATMX+ INDEX OR ANY DATA INCLUDED THEREIN. FACTSET MAKES NO EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, AND EXPRESSLY DISCLAIMS ALL WARRANTIES OF MERCHANTABILITY OR FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE OR USE WITH RESPECT TO THE FACTSET ATMX+ INDEX OR ANY DATA INCLUDED THEREIN. WITHOUT LIMITING ANY OF THE FOREGOING, IN NO EVENT SHALL FACTSET HAVE ANY LIABILITY FOR ANY SPECIAL, PUNITIVE, INDIRECT, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING LOST PROFITS), EVEN IF NOTIFIED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.



運用経過

基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

基準価額・騰落率

期首：1,537円

期末：1,283円（分配金0円）

騰落率：△16.5%（分配金込み）

基準価額の主な変動要因

日々の基準価額の値動きが FactSet ATMX + 指数（配当込み、香港ドルベース）の値動きの2倍程度となることをめざした運用を行った結果、中国テクノロジー株式市況はおおむね横ばいの推移となったものの、上下に振れる展開となったため、レバレッジ型ファンドでは値動きの影響による逡減が生じ、基準価額は下落しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

iFree レバレッジ ATMX+

年 月 日	基 準 価 額		FactSet ATMX+指数 (税引後配当込み、香港ドルベース)		株式組入 比 率	株式先物 比 率	公 社 債 組入比率	投資証券 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率
	騰 落 率	騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率					
(期 首) 2025年4月28日	円	%		%	%	%	%	%	%
	1,537	—	6,831	—	—	—	101.7	—	—
4月末	1,538	0.1	6,834	0.0	—	—	99.7	—	—
5月末	1,757	14.3	7,331	7.3	—	—	98.5	—	—
6月末	1,752	14.0	7,335	7.4	—	—	99.8	—	—
7月末	1,765	14.8	7,408	8.5	—	—	99.8	—	—
8月末	1,769	15.1	7,448	9.0	—	—	100.1	—	—
9月末	2,355	53.2	8,680	27.1	—	—	99.6	—	—
10月末	2,091	36.0	8,273	21.1	—	—	99.9	—	—
11月末	1,812	17.9	7,748	13.4	—	—	100.7	—	—
12月末	1,781	15.9	7,715	12.9	—	—	98.4	—	—
2026年1月末	1,898	23.5	7,988	16.9	—	—	99.6	—	—
2月末	1,375	△ 10.5	6,851	0.3	—	—	100.1	—	—
3月末	1,195	△ 22.3	6,424	△ 6.0	—	—	99.7	—	—
(期 末) 2026年4月27日	1,283	△ 16.5	6,696	△ 2.0	—	—	99.9	—	—

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

中国テクノロジー株式市況

中国テクノロジー株式市況はおおむね横ばいとなりました。

中国テクノロジー株式市況は、当作成期首より、関税政策をめぐる過度な警戒感が一巡する中、中国政府による民間企業支援姿勢の明確化や、A I（人工知能）・半導体分野を中心とした技術の自立強化策への期待が徐々に高まり、株価は緩やかに上昇しました。2025年6月以降は、A I投資の拡大や企業業績の底打ち期待が下支えとなった一方、米国による先端半導体規制やトランプ政権の発言を受けて、米中摩擦が再び激化するとの懸念が断続的に浮上し、株価はおおむね横ばいで推移しました。9月に入ると、中国企業によるA I関連投資の加速や、中国国内でのA I活用の進展が評価され、株価は大きく上昇しました。しかし10月に入り、米中貿易摩擦の再燃や半導体セクターをめぐる地政学的緊張が再び高まったことを受けて、株価は下落しました。その後は、A Iを軸とした成長期待が下支えとなり、おおむね横ばいの推移となりました。2026年2月に入ると、中国の経済指標の鈍化を受けた成長減速懸念が再燃し、企業収益の悪化や消費活動の低迷に対する警戒感から、株価は下落しました。さらに2月末には、米国およびイスラエルによるイランへの軍事行動を受けて中東情勢が緊迫化し、原油価格の上昇や地政学リスクへの警戒感が強まったことから、世界的にリスク回避姿勢が拡大し、中国テクノロジー株も一段と下落しました。4月に入ると、米国とイランが2週間の停戦合意に達したことを好感したほか、恒久的な停戦合意への期待から、上昇して当作成期末を迎えました。

前作成期末における「今後の運用方針」

当ファンドの運用方針に基づき、主にパフォーマンス連動債券（※）を高位に組み入れることにより、日々の基準価額の値動きが FactSet ATMX + 指数（配当込み、香港ドルベース）の値動きの2倍程度となることをめざして運用を行います。

また、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行います。

※ボルト・インベストメンツ・ピーエルシーが発行する債券（円建）

ポートフォリオについて

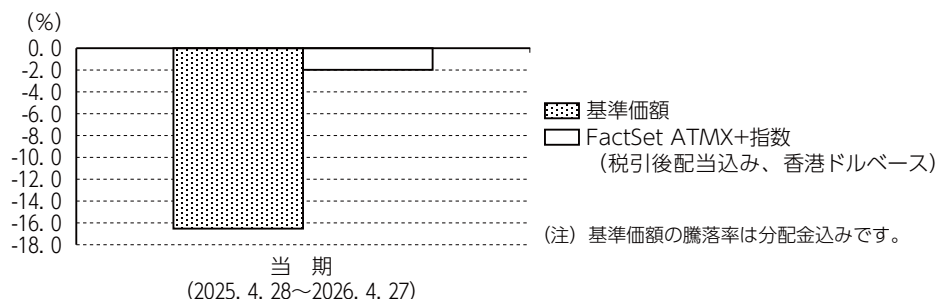
(2025. 4. 29 ~ 2026. 4. 27)

パフォーマンス連動債券への投資割合を高位に維持しました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



分配金について

当作成期は、信託財産の成長に資することを目的に、収益分配を見送らせていただきました。
 なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

分配原資の内訳（1万口当たり）

項 目	当 期	
	2025年4月29日 ～2026年4月27日	
当期分配金（税込み）	（円）	—
対基準価額比率	（％）	—
当期の収益	（円）	—
当期の収益以外	（円）	—
翌期繰越分配対象額	（円）	3

- (注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売却等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
- (注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。
- (注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。
- (注4) 投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはありません。



今後の運用方針

当ファンドの運用方針に基づき、主にパフォーマンス連動債券を高位に組み入れることにより、日々の基準価額の値動きが FactSet ATMX + 指数（配当込み、香港ドルベース）の値動きの2倍程度となることをめざして運用を行います。

また、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行います。

1 万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2025. 4. 29~2026. 4. 27)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	18円	1.030%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は1,760円です。
(投 信 会 社)	(9)	(0.532)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(8)	(0.477)	販売会社分は、運用報告書等各种書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(0)	(0.022)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	2	0.097	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(2)	(0.088)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.008)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0.001)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	20	1.127	

(注1) 当作成期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

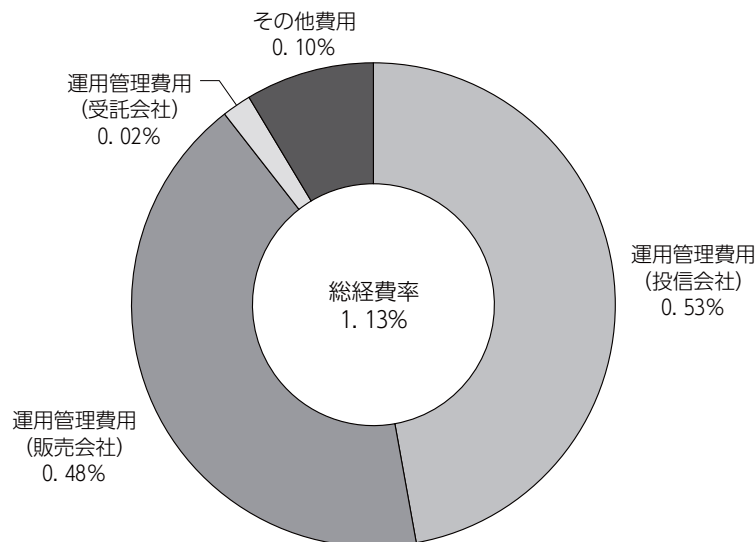
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券(マザーファンドを除く。)がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.13%です。



(注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料、有価証券取引税および投資対象とする連動債券にかかる費用等を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

*当ファンドでは、上記のほか投資対象とする連動債券において次の費用がかかりました。
純資産総額に対して年率0.19%程度、その他各種費用等

■売買および取引の状況

公 社 債

(2025年4月29日から2026年4月27日まで)

		買 付 額	売 付 額
国 内	社債券	千円 910,402	千円 1,075,641 (—)

(注1) 金額は受渡し代金（経過利分は含まれておりません）。

(注2) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 社債券には新株予約権付社債券（転換社債券）は含まれておりません。

(注4) 単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

公 社 債

(2025年4月29日から2026年4月27日まで)

当 期		期 付	
買 付	金 額	売 付	金 額
銘 柄	千円	銘 柄	千円
Vault Investments PLC 2027/3/31 (ユーロ円債)	910,402	Vault Investments PLC 2027/3/31 (ユーロ円債)	1,075,641

(注1) 金額は受渡し代金（経過利分は含まれておりません）。

(注2) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

(1)国内（邦貨建）公社債（種類別）

作 成 期	当 期				末		
	区 分	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うちBB格 以下組入 比 率	残存期間別組入比率	
5年以上						2年以上	2年未満
普通社債券	千円 4,392,000	千円 607,677	% 99.9	% —	% —	% —	% 99.9

(注1) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(注3) 評価額および格付情報については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入力しています。

(2) 国内 (邦貨建) 公社債 (銘柄別)

当 期		末			
区 分	銘 柄	年 利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
		%	千円	千円	
普通社債券	Vault Investments PLC	—	4,392,000	607,677	2027/03/31

(注) 単位未満は切捨て。

*同じ銘柄名が複数表示される場合、同一銘柄名であっても市場や通貨等が異なる場合があります。また、銘柄名称が長い場合、名称の一部が表記されない場合があります。

■投資信託財産の構成

2026年4月27日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公社債	607,677	98.9
コール・ローン等、その他	6,950	1.1
投資信託財産総額	614,628	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2026年4月27日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	614,628,024円
コール・ローン等	6,311,254
公社債 (評価額)	607,677,120
その他未収収益	639,650
(B) 負債	6,189,333
未払金	552,080
未払解約金	658,410
未払信託報酬	4,939,531
その他未払費用	39,312
(C) 純資産総額 (A - B)	608,438,691
元本	4,743,256,344
次期繰越損益金	△ 4,134,817,653
(D) 受益権総口数	4,743,256,344口
1万口当り基準価額 (C / D)	1,283円

* 期首における元本額は6,025,876,794円、当作成期間中における追加設定元本額は10,087,380,959円、同解約元本額は11,370,001,409円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は1,283円です。

* 当期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は4,134,817,653円です。

■損益の状況

当期 自2025年4月29日 至2026年4月27日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	186,860円
受取利息	67,043
その他収益金	119,817
(B) 有価証券売買損益	△ 235,327,256
売買益	210,048,888
売買損	△ 445,376,144
(C) 信託報酬等	△ 11,632,407
(D) 当期損益金 (A + B + C)	△ 246,772,803
(E) 前期繰越損益金	△ 3,495,874
(F) 追加信託差損益金	△ 3,884,548,976
(配当等相当額)	(1,854,827)
(売買損益相当額)	(△ 3,886,403,803)
(G) 合計 (D + E + F)	△ 4,134,817,653
次期繰越損益金 (G)	△ 4,134,817,653
追加信託差損益金	△ 3,884,548,976
(配当等相当額)	(1,854,827)
(売買損益相当額)	(△ 3,886,403,803)
繰越損益金	△ 250,268,677

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程 (総額)」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程 (総額)

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	0円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	1,854,827
(d) 分配準備積立金	0
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	1,854,827
(f) 分配金	0
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	1,854,827
(h) 受益権総口数	4,743,256,344口

ダイワ・マネースtock・マザーファンド

運用報告書 第16期 (決算日 2025年12月9日)

(作成対象期間 2024年12月10日～2025年12月9日)

ダイワ・マネースtock・マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

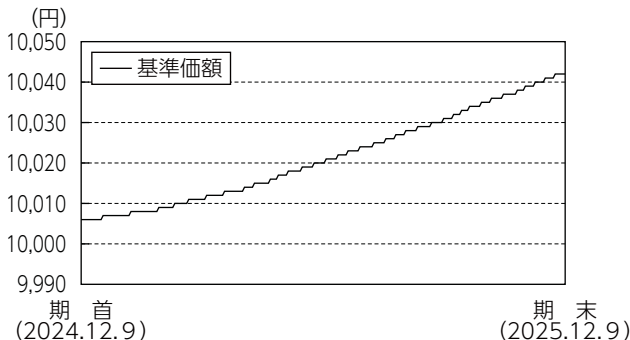
運用方針	安定した収益の確保をめざして安定運用を行いません。
主要投資対象	円建ての債券
株式組入制限	純資産総額の10%以下

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

■当作成期中の基準価額と市況等の推移



年 月 日	基準 価 額		公 社 債 組 入 比 率
	騰 落 率	騰 落 率	
(期首)2024年12月9日	円	%	%
12月末	10,007	0.0	69.8
2025年1月末	10,008	0.0	69.8
2月末	10,010	0.0	60.8
3月末	10,013	0.1	60.0
4月末	10,015	0.1	51.4
5月末	10,019	0.1	59.8
6月末	10,023	0.2	59.4
7月末	10,026	0.2	59.1
8月末	10,030	0.2	60.1
9月末	10,034	0.3	55.1
10月末	10,037	0.3	70.5
11月末	10,041	0.3	72.9
(期末)2025年12月9日	10,042	0.4	64.7

(注1) 騰落率は期首比。
 (注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。
 (注3) 当ファンドは、安定した収益の確保をめざして安定運用を行っており、ベンチマークおよび参考指数はありません。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：10,006円 期末：10,042円 騰落率：0.4%

【基準価額の主な変動要因】

利息収入により、基準価額は上昇しました。

◆投資環境について

○国内短期金融市場

日銀の利上げを受けて、短期金利は上昇しました。

◆前作成期末における「今後の運用方針」

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

◆ポートフォリオについて

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローンによる運用を行いました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

《今後の運用方針》

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローンによる運用を行う方針です。

■1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	-円
有価証券取引税	-
その他費用	-
合 計	-

(注1) 費用の項目および算出法については前掲しております項目の概要をご参照ください。
 (注2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■売買および取引の状況

公 社 債

(2024年12月10日から2025年12月9日まで)

		買 付 額	売 付 額
国 内	国債証券	千円	千円
		460,355,293	32,086,550 (430,600,000)

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。
 (注2) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。
 (注3) 単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

公 社 債

(2024年12月10日から2025年12月9日まで)

当		期	
買	付	売	付
銘	柄	銘	柄
金 額		金 額	
千円		千円	
1277国庫短期証券	2025/3/31	1231国庫短期証券	2025/5/20
43,884,327		32,086,550	
1324国庫短期証券	2025/11/10		
42,456,310			
1305国庫短期証券	2025/8/12		
42,359,507			
1343国庫短期証券	2026/2/16		
40,949,406			
1296国庫短期証券	2025/6/30		
35,369,131			
1337国庫短期証券	2026/1/19		
32,658,667			
1340国庫短期証券	2026/2/2		
30,962,304			
1341国庫短期証券	2026/2/9		
28,066,195			
1322国庫短期証券	2025/11/4		
27,971,020			
1303国庫短期証券	2025/8/4		
26,054,513			

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。
 (注2) 単位未満は切捨て。

ダイワ・マネースtock・マザーファンド

■組入資産明細表

(1) 国内（邦貨建）公社債（種類別）

区 分	当 期				末			
	額面金額	評 価 額	組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率	5年以上	2年以上	2年末満
国債証券	千円 132,800,000	千円 132,703,244	% 64.7	% -	% -	% -	% -	% 64.7

(注1) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(注3) 評価額および格付情報については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(2) 国内（邦貨建）公社債（銘柄別）

区 分	銘 柄	年 利 率	当 期		末	
			額 面 金 額	評 価 額	償還年月日	
国債証券	1337国庫短期証券	%	千円 32,700,000	千円 32,682,529	2026/01/19	
	1340国庫短期証券	-	31,000,000	30,977,943	2026/02/02	
	1341国庫短期証券	-	28,100,000	28,078,393	2026/02/09	
	1343国庫短期証券	-	41,000,000	40,964,377	2026/02/16	
合計	銘柄数 4銘柄 金額		132,800,000	132,703,244		

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2025年12月9日現在

項 目	当 期		末	
	額	比	額	率
公社債	千円 132,703,244	% 64.7		
コール・ローン等、その他	72,294,456	35.3		
投資信託財産総額	204,997,700	100.0		

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2025年12月9日現在

項 目	当 期	末
(A) 資産	204,997,700,368円	
コール・ローン等	72,294,456,353	
公社債(評価額)	132,703,244,015	
(B) 負債	-	
(C) 純資産総額(A-B)	204,997,700,368	
元本	204,130,644,571	
次期繰越損益金	867,055,797	
(D) 受益権総口数	204,130,644,571口	
1万口当り基準価額(C/D)	10,042円	

*期首における元本額は239,423,796,545円、当作成期間中における追加設定元本額は443,018,350,908円、同解約元本額は478,311,502,882円です。

*当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額:

ロボット・テクノロジー関連株ファンド - ロボテック	1,268円
ダイワ/ミレーアセット・インド株式ファンド - インドの匠	1,270円
ワールド・フィンテック革命ファンド (為替ヘッジあり)	998円
ワールド・フィンテック革命ファンド (為替ヘッジなし)	998円
ロボット・テクノロジー関連株ファンド - ロボテック (為替ヘッジあり)	1,849円
ロボット・テクノロジー関連株ファンド (年1回決算型)	1,985円
ロボテック (年1回) - (為替ヘッジあり)	
i Freeレバレッジ S & P 500	10,594,492,058円
i Freeレバレッジ NASDAQ100	131,022,793,738円
クリーンテック株式ファンド (資産成長型)	1,802円
ロボット・テクノロジー関連株ファンド - ロボテック (毎月決算/予想分配金提示型)	999円
世界インフラ戦略ファンド (為替ヘッジなし/資産成長型)	1,501円
i FreeETF 日経平均レバレッジ・インデックス	5,075,253,288円
i FreeETF 日経平均ダブルインバース・インデックス	4,076,800,989円
i FreeETF TOPIXレバレッジ (2倍) 指数	1,788,504,305円
i FreeETF TOPIXダブルインバース (-2倍) 指数	640,407,643円
i FreeETF 日経平均インバース・インデックス	5,059,702,292円
i FreeETF TOPIXインバース (-1倍) 指数	7,911,533,868円
i FreeETF JPX日経400ダブルインバース・インデックス	79,873,923円
i FreeETF S & P 500レバレッジ	977,167,177円
i FreeETF S & P 500インバース	2,285,058,968円
ダイワ日本国債15-20年ラダー型ファンド・マネーポートフォリオ - SLトレード	5,039,566円
ブルベア・マネー・ポートフォリオ6	19,300,063,267円
ブル3倍日本株ポートフォリオ6	11,789,858,577円
ベア2倍日本株ポートフォリオ6	3,512,508,363円
ダイワ/ハリス世界厳選株ファンド・マネー・ポートフォリオ	11,569,330円
ダイワ/ミレーアセット亜細亜株式ファンド	1,148円
ロボット・テクノロジー関連株ファンド (年1回決算型) - ロボテック (年1回)	1,588円
ダイワ/ミレーアセット・アジア・セクターリーダー株ファンド	1,813円

*当期末の計算口数当りの純資産額は10,042円です。

■損益の状況

当期 自2024年12月10日 至2025年12月9日

項	目	当	期
(A)	配当等収益	705,454,602	円
	受取利息	705,454,602	
(B)	有価証券売買損益	△	7,808,839
	売買益	837	
	売買損	△	7,809,676
(C)	当期損益金(A + B)	697,645,763	
(D)	前期繰越損益金	138,942,634	
(E)	解約差損益金	△	960,649,455
(F)	追加信託差損益金	991,116,855	
(G)	合計(C + D + E + F)	867,055,797	
	次期繰越損益金(G)	867,055,797	

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

《お知らせ》

■運用報告書にかかる信託約款の条文変更について

2025年4月1日付の投資信託及び投資法人に関する法律の改正により、運用報告書にかかる規定が変更されたため、運用報告書にかかる信託約款の条文を以下のとおり変更しました。(下線部を変更)

<変更前>

(運用報告書)

委託者は、投資信託及び投資法人に関する法律第14条に定める運用報告書を交付しません。

<変更後>

(運用状況にかかる情報)

委託者は、投資信託及び投資法人に関する法律第14条に定める事項にかかる情報を提供しません。